

女性研究者研究活動支援事業（一般型）

(実施期間：平成 25～27 年度)

実施機関：宇都宮大学（総括責任者：石田 朋靖）

プロジェクトの概要

本事業では、推進体制として「女性研究者キャリア支援室」を設置し、女性教員比率 18%の目標実現に向けて、女性研究者の意識調査を実施し、多様な研究支援制度を導入するとともに、他機関・他大学と連携した地域拠点化を図る。また、アクションプランとして、女性研究者のロールモデル集の作成、相談窓口の設置、さらに、メンタリング制度、スキルアップ講座の開催により、女性研究者の研究業績の向上を実現する。加えて、女性参画の基盤形成のため、女性研究者ネットワークを立ち上げ、ペルソナ対応型のデータベースを構築するとともに、研究活動を支援する者の配置については、コーディネーター、オフィサーを各 1 名、技術補佐員 2 名を新規採用し、支援室に専属配置する。

(1) 評価結果

総合評価	目標達成度	取組	取組の成果	実施体制	実施期間終了後の取組の継続性・発展性
A	b	a	a	a	a

総合評価：A（所期の計画と同等の取組が行われている）

(2) 評価コメント

女性研究者のニーズ調査を行い、調査結果を反映した両立支援の取組として、研究補助員制度やメンター制度の構築、休日勤務時の保育サポート、女性研究者ネットワークづくり等を行い、研究環境の整備を着実に進め、機関初の女性理事の誕生、国立大学初の女性工学部長の誕生と、管理職への女性の登用を積極的に進めたことは評価できる。今後は、工学系、農学系の女性教員数を積極的に増加させることを期待する。

- ・ **目標達成度**：女性教員の採用割合に係る目標は達成したが、女性教員比率、工学部及び農学部の女性教員数、上位職階の女性教員数、女性研究者の科学研究費補助金採択率に係る目標については、一定の成果はあったものの、未達に終わっている。今後は、工学系、農学系の女性教員を中心に女性教員の純増を図る取組を期待する。
- ・ **取組**：学長裁量経費を用いた教員の女性限定公募、研究補助員制度やメンター制度の構築、ワーク・ライフ・バランス相談窓口の設置、女性研究者の裾野拡大を目的とした「リケジョカフェ」の開催、ロールモデル集の作成等、女性研究者の支援や育成に向けた多様な取組が行われたことは評価できる。
- ・ **取組の成果**：機関執行部の意識改革が進み、女性教員採用割合の増加、管理職（理事、工学部長、教育研究評議会評議員）への女性の登用が進んだことは、評価できる。さらに、女性研究者の科学研究費補助金採択率は増加傾向にあり、大学入学試験における工学部、農学部の女子受験者数の増加も顕著であり評価できる。

- **実施体制**：学長直属の「男女共同参画推進室」の下に、教育研究評議会の評議員である女性教員を室長とする「女性研究者キャリア支援室」を設置することにより、学長のリーダーシップを加速しつつ、機関執行部の意識改革を効率的に促進する実施体制を構築しており、評価できる。
- **実施期間終了後の取組の継続性・発展性**：実施期間終了後は、「女性研究者キャリア支援室」が行っていた業務を「男女共同参画推進室」が引き継ぎ、規模を縮小したとはいえ、アンケート調査等での意見を踏まえ取組を継続していることは、評価でき、今後の取組の発展を期待する。